



DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL
TAKAO MIYAGUI

ニッケイ新聞

NIKKEY SHIMBUN

Rua da Glória, 332 - CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Tel. (11) 3340-6060 - www.nikkeishimbun.com.br

国内 引越は日通
海外 通 11-3583-3882

ANO XXI - Nº 5112

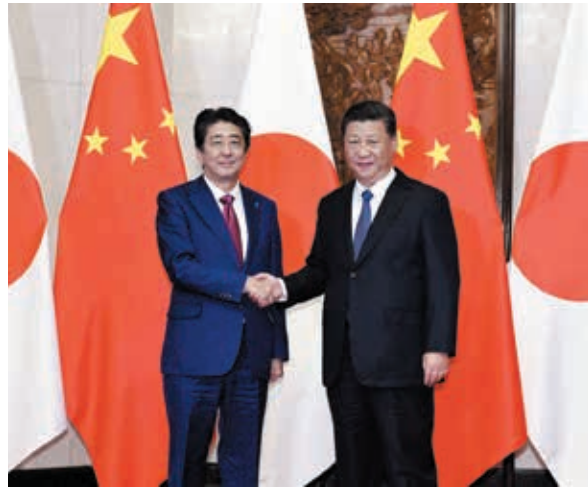
SÃO PAULO, SÁBADO, 27 DE OUTUBRO DE 2018

R\$ 4,00

日中、新時代の関係構築

首相、習主席と一致 第三国開発で協力

【北京共同】鳥成慎太郎、安倍晋三首相は26日夕（日本時間同）、中国・北京の釣魚台迎賓館で習近平国家主席との首脳会談を行い「新たな時代」の日中関係を構築する方針で一致した。習氏は「真剣に検討したい」と答えた。第三国でのインフラ開発協力や北朝鮮の非核化に向けた連携で一致。首相は沖縄県・尖閣諸島周辺での中国船の領海侵入を踏まえ、状況の改善を求めた。両首脳は意思疎通を強化し、不測の事態を回避することでも一致した。



会談を前に握手する安倍首相（左）と中国の習近平国家主席＝26日、北京の釣魚台迎賓館（代表撮影・共同）

首脳会談で安倍首相は「競争から協調へ」脅威でなく協力のパートナーに「自由で公正な貿易の推進」と三つの新原則を提案。「世界の平和と安定のため、力を合わせて貢献していきたい」と強調した。習氏は「両国関係は正しい軌道に戻り、前向きな勢いを見ている」と応じた。だが

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設の賛否を問う沖縄県民投票条例が26日、県議会での決起集会で賛成多数で可決された。条例は公決後、6月15日以内の投票を定めており、玉城デニー知事が来春までの具体的な実施時期を決める。また、条例の6が選挙事務の協力について回答を保留しており、全自治体で実施できるかは不明だ。

【共同】岐阜県が開発した糖度の高い高級柿「天下高舞」の初競りが26日、名古屋市中中央卸売市場北部市場（愛知県豊山町）で行われ、最高対話「設立に同意。東シナ海ガス田の日中共同開発に関する08年合意を完全に堅持し、早期の交渉再開を目指す」と確認した。「海上捜索・救助協定」の締結や「海空連絡メカニズム」のホットラインの早期開設方針で一一致。海上自衛隊と中国海

劇作の山崎氏らに文化勲章 作曲一柳氏、陶芸今井氏も

【共同】政府は26日、2018年度の文化勲章を、劇作・評論の山崎正和（84）、作曲の今井慧（85）、陶芸の今井政之（87）、租税法の金子宏（87）、情報工学の長尾真（82）の5氏に贈ることを決めた。文化功労者には小説随筆の阿刀田高（83）、スポーツの笠谷幸生（75）、歌舞伎の片岡仁左衛門（74）、大衆音楽・音楽著作権の都倉俊一（70）の4氏ら20人を選んだ。

文化勲章の親授式は11月3日に皇居で、文化功労者の顕彰式は同日に東京都内のホテルで開催される。

文化功労者はほか、左衛門（74）、大衆音楽・音楽著作権の都倉俊一（70）の4氏ら20人を選んだ。

文化勲章の親授式は11月3日に皇居で、文化功労者の顕彰式は同日に東京都内のホテルで開催される。

文化功労者はほか、左衛門（74）、大衆音楽・音楽著作権の都倉俊一（70）の4氏ら20人を選んだ。

功労者に阿刀田氏や笠谷氏

【共同】文化功労者には小説随筆の阿刀田高（83）、スポーツの笠谷幸生（75）、歌舞伎の片岡仁左衛門（74）、大衆音楽・音楽著作権の都倉俊一（70）の4氏ら20人を選んだ。

文化勲章の親授式は11月3日に皇居で、文化功労者の顕彰式は同日に東京都内のホテルで開催される。

文化功労者はほか、左衛門（74）、大衆音楽・音楽著作権の都倉俊一（70）の4氏ら20人を選んだ。

辺野古賛否、県民投票へ 沖縄条例可決、来春までに

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設の賛否を問う沖縄県民投票条例が26日、県議会での決起集会で賛成多数で可決された。条例は公決後、6月15日以内の投票を定めており、玉城デニー知事が来春までの具体的な実施時期を決める。また、条例の6が選挙事務の協力について回答を保留しており、全自治体で実施できるかは不明だ。

信長ゆかり高級柿54万円

【共同】岐阜県が開発した糖度の高い高級柿「天下高舞」の初競りが26日、名古屋市中中央卸売市場北部市場（愛知県豊山町）で行われ、最高対話「設立に同意。東シナ海ガス田の日中共同開発に関する08年合意を完全に堅持し、早期の交渉再開を目指す」と確認した。「海上捜索・救助協定」の締結や「海空連絡メカニズム」のホットラインの早期開設方針で一一致。海上自衛隊と中国海

野で世界をリードする独自の視点による作品を次々と発表

山崎氏は劇作家として独自の視点による作品を次々と発表。評論家としても多岐にわたる見識を示し続けた。一柳氏は精神的な創作活動で長年にわたる作曲界に刺激を与え、現代音楽の発展に貢献した。陶芸の今井政之氏は技術的に難しきとされる象眼技法を広い面に展開する象眼眼に発展させ、陶芸に新しい可能性を切り開いた。

野で世界をリードする独自の視点による作品を次々と発表

山崎氏は劇作家として独自の視点による作品を次々と発表。評論家としても多岐にわたる見識を示し続けた。一柳氏は精神的な創作活動で長年にわたる作曲界に刺激を与え、現代音楽の発展に貢献した。陶芸の今井政之氏は技術的に難しきとされる象眼技法を広い面に展開する象眼眼に発展させ、陶芸に新しい可能性を切り開いた。

結核菌を宮中三殿を参拝

【共同】高円宮家の三女絢子さま（28）が26日午前、歴代天皇や皇族の霊、神々を参拝する「日本郵船社員の守宮」に参拝した。午後には、皇居・宮殿「松の間」で天皇、皇后陛下に感謝の気持ちを伝え、お別れの儀も行った。

安堵や期待、反発も 再稼働に地元や市民団体

【共同】「稼働で町は活性化する」「安全に暮らすのは私たちの権利」など訴える声があふいた。四国電力が伊方原発3号機（愛媛県伊方町）を27日未明に再稼働させる方針を明らかにした。26日、地元住民からは安堵や期待の声が上がった。一方、東京電力福島第1原発事故から約7年経過する中、市民団体が事故の教訓を生かすよう訴え反発した。

地方自治法は条例制定に際し、市町村長と協議

【共同】地方自治法は条例制定に際し、市町村長と協議することを定めている。この規定は、地方自治体の実施が見通せなくなる。条例は、辺野古移設について投票で賛成・反対の2択で問う内容。公明の両党は「やむを得ない」とどちらとも言えない。項目を追加する修正案を提出したが、賛成多数で否決された。

競り落とされた柿は松坂屋古屋店の果物店に

【共同】高円宮家の三女絢子さま（28）が26日午前、歴代天皇や皇族の霊、神々を参拝する「日本郵船社員の守宮」に参拝した。午後には、皇居・宮殿「松の間」で天皇、皇后陛下に感謝の気持ちを伝え、お別れの儀も行った。

原発廃止こそが社会通念

【共同】「稼働で町は活性化する」「安全に暮らすのは私たちの権利」など訴える声があふいた。四国電力が伊方原発3号機（愛媛県伊方町）を27日未明に再稼働させる方針を明らかにした。26日、地元住民からは安堵や期待の声が上がった。一方、東京電力福島第1原発事故から約7年経過する中、市民団体が事故の教訓を生かすよう訴え反発した。

競り落とされた柿は松坂屋古屋店の果物店に

【共同】高円宮家の三女絢子さま（28）が26日午前、歴代天皇や皇族の霊、神々を参拝する「日本郵船社員の守宮」に参拝した。午後には、皇居・宮殿「松の間」で天皇、皇后陛下に感謝の気持ちを伝え、お別れの儀も行った。

競り落とされた柿は松坂屋古屋店の果物店に

【共同】高円宮家の三女絢子さま（28）が26日午前、歴代天皇や皇族の霊、神々を参拝する「日本郵船社員の守宮」に参拝した。午後には、皇居・宮殿「松の間」で天皇、皇后陛下に感謝の気持ちを伝え、お別れの儀も行った。

介護記録を自動化

【共同】九州工業大（北九州市）は26日、携帯するスマートフォンなどの加速度センサーを使って介護士の行動を分類し、介護記録を自動的に作成する技術を開発したと発表した。サンブル調査した事業所では、記録作成は業務全体の約1割の50分超を占め大きな負担となっていた。これを20分程度に短縮できるとしている。

介護記録を自動化

【共同】九州工業大（北九州市）は26日、携帯するスマートフォンなどの加速度センサーを使って介護士の行動を分類し、介護記録を自動的に作成する技術を開発したと発表した。サンブル調査した事業所では、記録作成は業務全体の約1割の50分超を占め大きな負担となっていた。これを20分程度に短縮できるとしている。

介護記録を自動化

【共同】九州工業大（北九州市）は26日、携帯するスマートフォンなどの加速度センサーを使って介護士の行動を分類し、介護記録を自動的に作成する技術を開発したと発表した。サンブル調査した事業所では、記録作成は業務全体の約1割の50分超を占め大きな負担となっていた。これを20分程度に短縮できるとしている。

FÉRIAS ANIMADAS 2018

"Pacote de 13 dias" ◆02 de julho

Roteiro: Osaka, Kyoto e Tokyo

Museu Ghibli

ALFAINTER TURISMO

Visite nosso site: www.alfainter.com.br

ENDEREÇO: Rua Galvão Bueno, 33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO - SP

TUNIBRA TRAVEL

ではポルトガル語と日本語で読み書き会話でき、旅行会社で働いた経験のある方を募集しています。

年齢不問

ツニブラ・トラベル

社員大募集!!

職種 ▶ 旅行業務全般 / 営業 / 販売

勤務地 ▶ リベルダーヂ

年齢 ▶ 不問

給料・待遇 ▶ 面接にて決定します。

※関心のある方は下記までお問い合わせください。(担当:ミドリ)

TEL.(11)3346-8200

1949 TUNIBRA TRAVEL

renovando e realizando suas viagens!

経歴書は下記メールアドレスへお送りください。送り先: komiya@tunibra.com.br

Praca da Liberdade, 170 - Liberdade, São Paulo

メトロ・リベルダーヂ駅の Av. Liberdade 側出口横

国際派日本人養成講座
伊勢雅臣

なぜ世界最古の土器が日本列島から出土するのか？

1万年以上も自然と共生し、平和が続いた縄文時代は「文明先進国がどこも体験することのできなかつた貴重な時間」だった。

1. 日本列島から出土した世界最古の土器の二つ

東京・上野の国立博物館での縄文展を見た。大変な人気である。特に中国やメソポタミアなどの土器との比較もできるように、縄文時代の火炎土器は年代もはるかに古いのに、立体的な造形美は比較にならないほど美しかった。また、細かい縄紋すらなわち細目の模様の精巧さにも驚かされた。

2. 縄文人たちの「持続可能な開発」

従来の文明観では、石器時代の人類は狩猟・採集による移動生活を送っていたが、約1万2千年前から定住生活ができるようになり、そこから文明が始まったというのだった。

3. 数百種類の食材を句を考えながら採っていた

縄文人たちは自然の恵みをただ受けとっていたのではない。それぞれの品目に「句」を知って採っていたようだった。

4. 定住と知識・技術の進化

縄文人の食の多様性をさらに大きく広げたのが土器だった。土器による煮炊きによって、木の実のアクを抜き、植物の根や葉を柔らかくして食べやすくなり、魚や獣の肉の腐敗を防げるようになった。土器は保存

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心がもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。
(ニッケイ新聞編集部)

容器としても、通気性や通水性にあって表面の水分が気化して低温を保つので、食物の長期保存を可能とした。

縄文人たちは定住することで、大きな重い土器を作り、使うことができるようになった。一定の場所から粘土を見つけ、それを形にし、火で焼くという作業は定住していなければできなかった。

また、定住生活では身体が弱ったお年寄りも脱落することなく、その経験や知識を次の世代に伝えることができる。それによって様々な食材を食べられるかどうか判別し、いづこで採ったら良いかを考え、という知識と経験の積み重ねが容易になった。土器の発達も、定住生活ができるようになったから加速したであろう。

定住が土器を発達させ、食材に関する知識を蓄積できるようにした。逆に土器と食材に関する知識が定住を可能とさせた。この定住と技術・知識の蓄積は、車の両輪として暮らしの進歩をもたらしたようだ。

こうして自然の中に抱かれて暮らしていた縄文人の世界観は、また独特のものがあった。それを明治学院大学・武光誠教授は「円の思想」と表現している。「自然界ですべてのものが互いに深くつながって存在している」という世界観である。

夏が終われば秋の山野の恵みが、冬が終われば春の食物が現れる。縄文人は、人間とは、このような終わりのない自然界の恵みによって生かされている存在なのだと考えた。「3, P26」

縄文人は、人間同士で互いに語り合うように、自然の「声」にも聞き入っていたのである。

6. すべての人が平等だった環状集落

人間が自然の円の中で生かされているとすれば、人間同士もその円の中で、生まれ、育ち、年老い、そして子孫を残して死んでいくものであった。そこには階級分化もありえず、すべての人間は平等だった。

縄文人は集落の中心に円形の広場を作り、そこで自然を司る精霊を祀った。そして、その周りに竪穴住居を円形の形に配置した。どの家も神聖な広場からは等距離である。このような「環状集落」は5千年前から、東北地方から中部地方まで広い範囲で作られた。

後に神社ができると、その祭りで、歌や踊りに興じたり、神輿とともに練り歩いたりするようになった。縄文時代から同様の祭りがあつたらう。特に盆踊りは「円」を作って、一緒に回る。こうして、みんな一緒に楽しむと共に、精霊たちを喜ばせた。

人間が明るく楽しく過ごすことが、精霊に活力を与えて元気にする最も大切なこととされた。特に縁ある男女が結ばれて、明るい気持ちで仲良く過ごし、多くの子供をつくる事を縁産と呼び、人々は夫婦になつた二人を祝福して、賑やかな婚礼を開いた。「円」は「縁」でもある。

縄文時代には各地の集落間で広域の交易が行われていた。新潟県魚川市の山中で上質なヒスイが採れるところがあるが、このヒスイを用いた勾玉の祭器が日本全国から出土している。

7. 「旅」と「まれ人」

縄文時代には各地の集落間で広域の交易が行われていた。新潟県魚川市の山中で上質なヒスイが採れるところがあるが、このヒスイを用いた勾玉の祭器が日本全国から出土している。

また、秋田、山形、新潟の油田地帯では、石油が地上に染み出してできたアスファルトが採れる。このアスファルトは、石の矢尻を矢柄の先端にくっつけた、壊れた土器を修理する接着剤として使われるが、これらアスファルトを使った出土品が北海道南端から、東北地方全域、北陸地方に及ぶ広い範囲で見つかられている。

こうした交易がどのようになされたのか。たとえば青森の三内丸山の集落で祭祀にヒスイが必要となる。集落の中から選ばれた勇者たちがヒスイの採れる新潟の糸魚川近辺まで出かけていく。そういう旅人が来て、糸魚川の住民は快く場所を教える。すべての自然物は精霊の恵みなので、彼らが独占すべきものではないから。

武光誠教授は、これが「旅」の始まりだと指摘する。「旅」とは「賜へ」すなわち「何かを下さい」という言葉から出た。自分が欲しい物がある所に行つて、その集落に「何々を賜へ(ください)」とお願いする行為が旅だった。

縄文時代の代表的な遺跡、三内丸山遺跡に関して、自由社版の中学歴史教科書は次のように述べている。

8. 日本人のユニークな経験

1万年以上にわたる縄文時代の大きな特徴は、遺跡から戦争の武器が出土しないことです。三内丸山のような巨大遺跡からさえ、動物を狩るための弓矢や槍はありましたが、武器は見つかりませんでした。おたがいが助け合う和の社会が維持され、精神的な豊かさを持ち合わせた社会であったと考えられます。

私たちの祖先である縄文人は、「和の文明」とも呼べるようなおたがやかな社会を築いていたのです。「5, P33」

土地もヒスイも魚も、すべて自然の恵みと考えれば、そこには私有財産という概念は生じ得なかつたらう。そして、その自然の恵みを人々が感謝しつつ、使いすぎないように注意深く使っている社会では、争いは生まれません。

一方、農耕社会では、自分が汗水垂らして耕して作った畑は自分のものだ、という意識が生ずる。その土地を増やそうとすると、土地を巡って隣人と争いが生ずる。

国際派日本人養成講座 伊勢雅臣氏の厳選シリーズ第3弾！
世界が称賛する日本の経営

1冊100レアル 限定販売 残りわずか！

【お問い合わせ】ニッケイ新聞編集部 TEL: (11) 3340-6060
【郵送の注文は日系書店まで】太陽堂:(11)3208-6588 / フォノマギ竹内書店:(11)3104-3399 / 高野書店:(11)3209-3313

Diplomacia (26/10/2018)

Premiê japonês diz que relações sino-japonesas entram em uma nova fase

O primeiro-ministro japonês, Shinzo Abe, diz que a relação entre o Japão e a China está entrando em uma nova fase, mudando da condição de competição para a de cooperação. Ele terminou as conversações com o premiê chinês Li Keqiang, nesta sexta-feira. Abe é o primeiro premiê japonês a fazer uma visita oficial a Pequim em sete anos, em meio às melhoras das relações entre os dois países. Em uma entrevista à imprensa, Abe disse o seguinte: "O Japão e a China são fortes parceiros e não serão uma ameaça um ao outro. O premiê Li e eu reafirmamos este princípio nas conversações que tivemos há pouco."

Por sua vez, o premiê chinês Li afirmou: "Necessitamos avançar para sempre as relações sino-japonesas e nos asseguramos de evitar novos contratemplos". Abe citou que as duas partes se comprometeram a trabalhar para assegurar a segurança nas águas. Ele disse: "Concordamos em cooperar para lidar com os acidentes marítimos no Mar da China Oriental e trabalhar para a expansão de um mecanismo de comunicação, estabelecendo rapidamente uma linha direta entre as autoridades do setor de defesa, de modo que possamos fazer o Mar da China Oriental um mar de paz, cooperação e amizade". Li disse que eles concordaram, também, com relação

à importância do livre comércio. Ele disse: "A situação ao redor do mundo é instável, com aumento de incertezas e uma crescente tendência contra a globalização. Concordamos que, como países que têm grande influência na região e no mundo, precisamos ativamente proteger o livre comércio". Outra questão chave que eles discutiram foi a da Coreia do Norte. Abe disse: "O Japão e a China têm uma grande responsabilidade para assegurar a paz e a estabilidade nesta região. Concordamos em cumprir essa responsabilidade cooperando um com o outro para conseguir a desnuclearização da Coreia do Norte, que é

uma meta comum de ambas as nações". Outra prioridade de Abe é solucionar a questão dos sequestros. O Japão mantém que agentes norte-coreanos sequestraram vários cidadãos japoneses nas décadas de 1970 e 1980. Li declarou: "Nestes últimos tempos, têm havido oportunidades para a realização de diálogos na Península Coreana. Apreciamos esta tendência feita por todas as partes. Ambos concordamos em desenvolver ainda mais a comunicação e a cooperação na questão nuclear norte-coreana. A China apoia os esforços do Japão para melhorar suas relações com a Coreia do Norte através do diálogo e resolver as questões pendentes".

Diplomacia (25/10/2018)

Palavra-chave: O tratado de paz e amizade entre Japão e China

Neste ano, comemorase o 40º aniversário do tratado bilateral de paz e amizade entre o Japão e a China. Ele foi assinado em 12 de agosto de 1978, com base na normalização das relações diplomáticas em 1972. O tratado diz que os dois países desenvolverão laços de amizade baseados nos princípios de respeito mútuo pela soberania e integridade territorial, além de não agressão mútua. Ele é a fundação das atuais relações entre o Japão e a China. Desde o estabelecimento de laços diplomáticos, os dois países têm estreitado a interdependência

sobretudo em questões econômicas, mas também se confrontaram por diversas vezes devido a questões históricas e de segurança. As relações bilaterais pioraram há seis anos, quando o governo japonês adquiriu parte das Ilhas Senkaku de um proprietário particular do país, em 2012, desencadeando protestos antinipônicos de grande escala na China. O Japão controla as ilhas situadas no Mar da China Oriental. China e Taiwan as reivindicam. Contudo, recentemente, os laços bilaterais melhoraram até um determinado patamar em que conversações en-

tre líderes e negociações de nível ministerial têm ocorrido com frequência. Segundo o correspondente da NHK, Tomoki Matsuda, por trás do acaloramento das relações está a disputa comercial entre a China e os Estados Unidos. O governo do presidente americano Donald Trump impôs tarifas elevadas sobre produtos chineses como uma medida punitiva. O lado chinês, por sua vez, respondeu com altas tarifas sobre importações americanas. Em meio à piora das relações com os Estados Unidos, a China tenta melhorar os laços com o Japão e outras nações asiáticas.

Matsuda afirma que restaurar uma relação de confiança com o Japão, que é uma potência econômica, é muito benéfica para a China. Ele diz que também é importante que o Japão estreite os laços com a China e seu enorme mercado, já que a população japonesa continua a encolher e envelhecer. O correspondente da NHK declara que Tóquio tem respondido de maneira positiva à mudança de atitude de Pequim. O governo japonês espera que a ida do premiê Shinzo Abe à China resulte na visita do presidente chinês Xi Jinping ao Japão. Quer ainda ver os líderes dos dois países fazendo visitas mútuas com regularidade e que o Japão e a China fortaleçam as relações bilaterais.

Diplomacia (26/10/2018)

China convida Japão a participar da iniciativa "Cinturão e Rota"

O premiê chinês Li Keqiang convidou o Japão a trabalhar com a China em projetos, tais como o "Cinturão e Rota", de iniciativa de Pequim, de modo a criar um gigantesca zona econômica. Na quinta-feira, Li falou

em uma recepção realizada em Pequim para comemorar os 40 anos desde que o tratado bilateral de paz e amizade entrou em vigor. O primeiro-ministro do Japão, Shinzo Abe, também participou do evento.

Li disse que os dois países necessitam aprender da visão, sabedoria e coragem dos políticos de gerações anteriores e construir relações mais maduras e estáveis, condizentes com as tendências dos tempos. Ele acrescentou que a

China apreciaria se o Japão de juntasse ao projeto "Cinturão e Rota" e, juntos, promovessem a cooperação em mercados de terceiros países. Também enfatizou que a China e o Japão deveriam liderar um desenvolvimento estável da economia global e que as duas nações necessitam proteger o multilateralismo e o livre comércio.

Transferência de base militar (26/10/2018)

Okinawa vai realizar referendo sobre transferência de base

A assembleia de Okinawa resolveu realizar um referendo sobre um plano para a transferência de uma base dos Estados Unidos dentro da província do sul do Japão. O pleito será realizado dentro de um período de seis meses a partir do anúncio oficial. Na sexta-feira a assembleia aprovou a proposta

com uma maioria de votos. As assinaturas de mais de 90 mil apoiadores do referendo já haviam sido entregues à província em setembro. Os participantes terão de responder se aprovam ou não o plano para transferir a Base Aérea de Futenma de Fuzileiros Navais dos Estados Unidos da área

densamente populosa da cidade de Ginowan para um bairro com menor população da cidade de Nago. Membros dos partidos que apoiam o governador Denny Tamaki votaram a favor do referendo. Em setembro Tamaki havia vencido a eleição para governador da província, e prometido impedir o plano de transferência da base que já havia sido firmado entre o Japão e os Estados

Unidos. A assembleia da cidade de Ishigaki aprovou uma moção de oposição ao referendo no começo de outubro. Alguns dos 41 municípios da província ainda não confirmaram se vão enviar funcionários para a realização do pleito. O governo provincial disse que vai coordenar os municípios para que o referendo possa ser realizado em todas as partes de Okinawa.

Negócios (26/10/2018)

"Loja de conveniência móvel" facilita a vida de idosos em complexo habitacional de Tóquio

Muitos idosos, que moram em áreas urbanas, têm de se deslocar uma distância considerável para fazer compras do dia a dia, devido à falta de supermercados nas proximidades. As chamadas "lojas de conveniência móveis" estão facilitando a vida dessas pessoas. Agora, a Seven-Eleven Japan, que lidera o setor, iniciou o serviço em Tóquio.

Um caminhão visita, duas vezes por semana, um complexo habitacional onde vivem muitos idosos. Estão à venda cerca de 150 produtos, incluindo alimentos. Muitas

dessas pessoas visitaram a loja na quinta-feira, no primeiro dia da operação. Elas compraram pão e comidas prontas. A Lawson e a Familymart, concorrentes da Seven-Eleven, também operam lojas de conveniência do gênero em algumas áreas.

NHK WORLD

JAPAN

Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD-JAPAN. nhk.jp/portuguese

Coreia (26/10/2018)

As duas Coreias e o Comando da ONU terminam remoção de armas no vilarejo de armistício de Panmunjom

O Ministério da Defesa da Coreia do Sul declarou que os militares das duas Coreias e o Comando da ONU terminaram a remoção de armas de uma área controlada em conjunto no vilarejo de armistício de Panmunjom. O ministério disse, na quinta-feira, que as três partes terminaram a remoção de armas, munição e postos de guarda da Área Conjunta de Segurança, conhecida pela sigla JSA. As duas Coreias permanecerão tendo 35 ou menos pessoal desarmado em dita zona. A mídia sul-coreana relatou que turistas e outros

serão permitidos a circularem livremente cruzando a fronteira interna da JSA, a partir de mês que vem. A Área Conjunta de Segurança não fora desmilitarizada desde que soldados norte-coreanos mataram dois oficiais militares americanos no local em 1976. Na reunião de cúpula intercoreana do mês passado, os dois países concordaram em suavizar a tensão militar. Eles terminaram a eliminação de minas terrestres na zona de armistício, no sábado passado.

Migração (26/10/2018)

Trump mobiliza militares para terminar com migração

O presidente dos Estados Unidos, Donald Trump, declarou que tenciona enviar tropas para a fronteira com o México, de forma a evitar que milhares de migrantes ingressem no país. Autoridades do estado sulino mexicano de Chiapas afirmam que o número de migrantes da América Central rumando para o norte, em direção da fronteira com os Estados Unidos, chegou a 6 mil desde que iniciaram o deslocamento cerca de duas semanas atrás. Trump colocou uma mensagem no Twitter, na

quinta-feira, na qual afirma que os Estados Unidos não vão permitir entradas ilegais. Ele disse que "envolverá os militares para enfrentar esta Emergência Nacional". Existem atualmente cerca de 2 mil membros da Guarda Nacional posicionados ao longo da fronteira. A mídia americana afirma que James Mattis, Secretário da Defesa, deverá deslocar pelo menos 800 soldados da ativa para reforçar a proteção da fronteira.

Aplicativos gratuitos da

NHK WORLD

JAPAN

Serviço em português a qualquer hora em qualquer lugar!

NHK WORLD RADIO JAPAN

*Para iOS e Android



Advertisement for 'NHK World Japan' featuring a '35% OFF' promotion on Japanese culture books. The ad lists five books: '日本文化1' (¥35.00), '日本文化2' (¥40.00), '日本文化3' (¥40.00), '日本文化4' (¥40.00), and '日本文化5' (¥40.00). It also mentions a 'サンパウロ青年図書館' (São Paulo Youth Library) and a 'ニッケイ新聞' (Nikkei News) promotion.

中津川姉妹都市38周年

友好の絆深め再会誓う

杉本会長「20年は岐阜へ」

レジストロ中津川姉妹都市協会(高橋邦彦会長)が主催する姉妹都市提携38周年レジストロ日本入植105周年・日本移民110周年を祝う式典が20日、レジストロ文協協会館で行われ、約130人が盛大にお祝った。首都からはサムエル・モレイラ連邦下議、岐阜県中津川市から青山市長や中津川姉妹都市友好推進協会の杉本潤会長(訪問団団長)ら17人の公式訪問団、聖市からも岐阜県人慶賀祝団13人が参加した。



挨拶する青山市長

冒頭、レジストロのジル・ソウファンチン市長は「3年前に私が中津川で歓迎して頂いた感激を、今回日本から来られた皆さんにも感じてほしい。この機会にさらに友好が深まりますように」と挨拶した。マルセロ・コメロン市長も「何度でもご訪問下さい」と歓迎の言葉を述べた。大堀大蔵市長は「大変な歓迎で感動している。38年かけて育ててきた友好関係を永く」

「38年間に25万ドル分の援助を主に医療分野に」と述べた。大堀議長は2人にレジストロ市議から名誉市民章が贈られ、青山市長から山村純子さんと柳生てるあさんに特別名誉市民証が授けられた。中津川市を紹介するビデオが上映された後、青山市長から郷土が誇る画家・笠木茂さんの絵画がフアンチン市長に贈られるなど、記念品を交換した。主催の高橋会長は「2020年の再会を期待しています」と呼びかけ、モレイラ連邦下議は今回の選挙で再選されたことを感謝した上で「我々」



岐阜県人会一行(中央が長屋会長)と青山市長(右から2人目)、左が山村連合会長



清水丸子さん

は日本移民から礼儀正しき、倫理や道徳などを学んだ。人種差別や民族間流は世界への模範だ」と力説した。地元来場者の清水丸子さん(85、レジストロ口生まれ)は「私は姉妹都市提携後、81年に最期を遂げた。38年の長きにわたって良好な交流を継続してきたのは、関係者の努力のたまもの。提携の発端を作った泉人会としても心からその御尽力に感謝を込めてお祝いしたい。さらなる発展を」とエールを送った。

「コパイネーターを務める青山市政さんによれば、02年からJICAシニアボランティア小田幸久氏が全各地を巡って指導したことが太鼓チームの火付け役となり、その下で発足した太鼓グループなどが、09年に共同で始めたのがこのショーだった。今回出演するグループは普段から交流があり、技術や知識を互い交換し切磋琢磨しながら稽古に励んでいた。2カ月前から音や動作合わせなどの練習を重ねてきており、合同演奏も見所の一つだ。

大耳小耳

レジストロ中津川姉妹都市提携38周年の式典は、午後6時開始予定だったが、始まったのは7時。どうやら通訳が突然来れなくなり、ドタ

に頂き、本当に感謝おかげで市民が助かっている」と感謝し、中津川の杉本会長も「東京五輪が行われる2020年には中津川にたくさん来てほしい。2027年には時速500キロのリニア新幹線が通る。地域の活性化と国際化への期待が膨らんでいる。もっこのような交流を深化させていきたい」と語った。

青山市長は「市民を主体とした交流が着実に根付き、受け継がれている。2020年の再会を期待しています」と呼びかけ、モレイラ連邦下議は今回の選挙で再選されたことを感謝した上で「我々」

市長らが平服姿を現し、仲良く朝食ミーティングを始めた。昨晩の式典開始の遅れを気にする様子もなく、親密な信頼関係が築かれていたことが場の雰囲気から伺われた。その後、中津川の一行はセントスで日本移民関連を視察した後、リオに立ち寄り、23日に帰路に着いた。

「サノイヨイ」も傑作だが、チャチャチャ・パンブーの歌(おもちゃのチャチャチャ)のメロディでもイイ。熟練では最近、東洋のラーメン屋で大量の割り箸を使い叩けばジャンと伸び、足を叩けば踊ります。魔法の割り箸チャチャチャ。皆さんも一つどうですか？

コーパイネーターを務める青山市政さんによれば、02年からJICAシニアボランティア小田幸久氏が全各地を巡って指導したことが太鼓チームの火付け役となり、その下で発足した太鼓グループなどが、09年に共同で始めたのがこのショーだった。

サンパウロ日伯看護協会
リハビリテーションセンター

日本語で対応します

受付時間
月～金 07:00～19:00
土 07:00～13:00
人間ドック受付 月～金 07:00～16:00

人間ドック、診察と検査(内科及び各種専門科)、歯科各種健康保険取り扱っています(日本の保健各種)日本語の診断書を発行します

Adesão de novos associados
新会員募集:
(11) 3274-6523

お問合せ:(11) 3274-6555
ご予約(内科以外の各専門科):(11) 3274-6508
人間ドック:(11) 3274-6495
歯科:(11) 3274-6501

最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は真心込めた医療をあなたへお届けします

24時間受付
内科・外科・小児科
整形外科・心臓外科 他

日本語で対応します
各種健康保険取り扱っています(日本の保健各種)

日伯友好病院行きバスのご案内
地下鉄Tatuapé駅発172X-10
地下鉄Santana駅発271M-10
Dom Pedro II公園発272N-10

Tel.: (11) 2633-2200
Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo
www.hospitalnipo.org.br

アララクアラノロエステ 巡訪

(7)



街中に作られた人工島で繁殖するアララ(市民団体フェイスブックより)

9月23日、故郷巡り4日目。出発時刻の1時間前にはほとんどの参加者が荷物を抱え、ロビーで待機していた。その間、故郷巡りの常連でサンパウロ博物館研究会に所属する小山徳さんが、受付の女性に街路樹の名前を質問していた。

「その女性が度忘れしたと言って、他の職員に聞いて戻ると、オイオイ」というバラ科の植物だと言う。その女性は「近くの広場に野生のインコがたくさん。もう見

ましたか」と尋ね、「野鳥観察に旅行客もいる。今度来るときはぜひ見てみて」と教えてくれた。

調べたら、G1サイト「16年12月28日付に「ルリコンゴウインコがサンタフェ・ド・スエラを繁殖先」との見出し。その記事によれば、2010年から繁殖期になると町にやってくる。その巣の保護と観察をするため、市民団体「ルリコンゴウインコ」が

そんな話をしているうちに出発時刻となり、次の目的地であるイリヤ・ソウテイラに向かった。現地に着くと、同市観光局員がバスに乗り込み、車窓から市内観光地を案内してくれた。この日は休日だったため、観光地にも係らず殆どの店が閉まっていた。記念撮影をするというので下車したところ、ベンチに腰掛

の印象を語った。故郷巡りに参加しはじめた理由を聞くと「脳内動脈瘤破裂で主人が下半身麻痺になり、医者からは「もう歩けないかもしない」と言われ、それで、主人のリハビリのため参加するようになったんです。旅先では色々な人と親睦を深められるし、外に出たいという動機付けにもなるから」と話し、「そういつか住んでいたのよ」とも語り始めた。なんでも「親の遺骨を取りに

ね」と夫と顔を見合わせ、高松さんと話している。隣に腰掛けていた婦人が「この辺りにチエテ移住地があって、親族が住んでいたのよ」とも語り始めた。なんでも「親の遺骨を取りに

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

「アアララ繁殖、隠れた人気者?」

様々な思いを抱える参加者

年金 (INPS) 受取りの 手続きをいたします

Fazemos Aposentadoria

Fones: 3208-7803 / 3341-7308

お子様の御成長を祈る 七五三祝

着物有ります

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL

南米神宮

Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP

Tel: (11) 5575-4783 - www.templexintoista.org.br

Vende-se casa em Sorocaba Mario (011) 99379-3431

Ampla Sala e Cozinha, 1 Suite, 2 Dormitórios e Lavanderia

Terreno=1.435m2 AC=220m2 Pomar=20 pés diversos

サンパウロ日伯看護協会

リハビリテーションセンター

日本語で対応します

受付時間
月～金 07:00～19:00
土 07:00～13:00
人間ドック受付 月～金 07:00～16:00

人間ドック、診察と検査(内科及び各種専門科)、歯科各種健康保険取り扱っています(日本の保健各種)日本語の診断書を発行します

Adesão de novos associados
新会員募集:
(11) 3274-6523

お問合せ:(11) 3274-6555
ご予約(内科以外の各専門科):(11) 3274-6508
人間ドック:(11) 3274-6495
歯科:(11) 3274-6501

Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP
www.enkyo.org.br

サンパウロ日伯看護協会

日伯友好病院

最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は真心込めた医療をあなたへお届けします

24時間受付
内科・外科・小児科
整形外科・心臓外科 他

日本語で対応します
各種健康保険取り扱っています(日本の保健各種)

日伯友好病院行きバスのご案内
地下鉄Tatuapé駅発172X-10
地下鉄Santana駅発271M-10
Dom Pedro II公園発272N-10

Tel.: (11) 2633-2200
Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo
www.hospitalnipo.org.br

特集 **ブラジル山形県人会**

創立65周年盛大に祝う

吉村知事「県人移民は誇り」

海外技術研修員は交流の要

1907年、笠戸丸移民に先駆けて当地へ渡った鈴木貞次郎氏を筆頭に、5826人の山形県人が移民政策によって当地へ渡った。53年、会員同士の親睦と相互扶助を目的にブラジル山形県人会が設立され、当初91人だった会員は現在では400人以上に増加した。21日には県人会創立65周年記念式典を聖市で盛大に行うに際し、母県から慶祝に訪れた若松正俊副知事、小野幸作県議会議長、寒河江浩二山形新聞社長ら31人の訪問団と総勢300人の県系人らは、先人の苦勞を偲び、県人会のますますの発展を祈念した。



ブラジル山形県人会創立65周年記念式典・山形県人移住
MEMORÇÃO DO 65º ANIVERSÁRIO DE FUNDACÃO DA ASSOCIAÇÃO YAMAGATA KENJIN DO BRASIL 1907 ANO DA IMIGRAÇÃO JAPONESA DA PROVÍNCIA DE YAMAGATA - 2018
慶祝団と県人会役員らで行った記念撮影



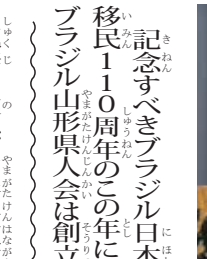
小野幸作県議会議長 若松正俊副知事

式典では、両国歌斉唱、後、篠原会長が挨拶に立ち、先陣の御努力のおかげで65周年を迎えることのできたことと感謝を述べ、今後の更なる発展を誓った。来賓挨拶に立った若松副知事は、公務重務の参加できなかった吉村美栄子県知事は、県人移民の活躍に対し「大いに誇りに思う」と述べ、長年に渡って県人会活動を支えてきた会員らに「深く敬意を表します」と語った。また、海外技術研修員事業で対象33



イビラペラ公園の先死者慰霊碑を参拝した

カ国中、伯国からの参加が最多の118人であることに加え、本県との友好の懸け橋となることを御期待申し上げます」と話した。その後、小野幸作県議会議長、寒河江浩二山形新聞社長、折原敬一山形県農業協同組合中央副会長、楠野隆志山形県連合会副会長らが登壇し、祝辞を述べ、山形県花笠童市名産の将棋駒の置物「左馬」、山形市名物「平清水焼の壺」、平安時代から続く県の伝統工芸「山形鉦物」の大黒様、伝統舞踊花笠の衣装などが贈られ、県人会からは同出身の現代彫刻作家、豊田豊さん(80)による版画4点が贈られた。海外技術研修生を代表して



山形県花笠童市名産の将棋駒の置物

祝辞を述べ、山形県花笠童市名産の将棋駒の置物「左馬」、山形市名物「平清水焼の壺」、平安時代から続く県の伝統工芸「山形鉦物」の大黒様、伝統舞踊花笠の衣装などが贈られ、県人会からは同出身の現代彫刻作家、豊田豊さん(80)による版画4点が贈られた。海外技術研修生を代表して

皆様の協力のおかげ

65周年の節目を迎えるこの度の記念式典には、母県山形より若松正俊副知事を始め、多くの皆様、会員ご家族の盛大なご参加をいただき、誠にありがとうございました。また、当地からは在聖領事館、ブラジル都道府県人会連合会、日本文化福祉協会、サンパウロ日伯援護協会、着いたのが1907年のこの日。山形県人会は、1907年、笠戸丸移民に先駆けて当地へ渡った鈴木貞次郎氏を筆頭に、5826人の山形県人が移民政策によって当地へ渡った。53年、会員同士の親睦と相互扶助を目的にブラジル山形県人会が設立され、当初91人だった会員は現在では400人以上に増加した。21日には県人会創立65周年記念式典を聖市で盛大に行うに際し、母県から慶祝に訪れた若松正俊副知事、小野幸作県議会議長、寒河江浩二山形新聞社長ら31人の訪問団と総勢300人の県系人らは、先人の苦勞を偲び、県人会のますますの発展を祈念した。

聖市で「最上川さくら回廊」

山形新聞社がUSPに植樹



挨拶を行う寒河江社長

山形新聞社(寒河江浩二社長)は、次世代の県民により強い愛郷心を持つもらうため、山形を象徴する雄大な最上川に美しい桜を植樹する。20日、ブラジル山形県人会の慶祝のため、伯国を訪れた寒河江社長らは海外4例目となる桜の植樹をサンパウロ公園で行った。同社は、同出身の現代彫刻作家、豊田豊さん(80)による版画4点が贈られた。海外技術研修生を代表して



ブラジル山形県人会が創立65周年を迎えられ

心からお祝い申し上げます

山形県知事 吉村美栄子
本日ここに、記念式典が盛大に開催されますことを、山形県民を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。本年はブラジル日本移民110周年の記念の年であり、また、最初の移民に先立ち、27年前に伯国に渡り

「日本人移民の先人」と讃えられた鈴木貞次郎氏が本県大石田町出身であることは、山形県人として大いに誇りに思う次第であります。県人会は、1953年の創立以来、積極的な事業を展開されてこられました。文化活動や各種のイベントを通じ、山形県の認知度向上、本県と伯国との

の友好親善の進展に多大な貢献をいただいたことに対し、感謝申し上げます。また、これからの御努力に深く敬意を表します。本県では1976年より海外の県人会などから専門分野の研修を受ける人材を養成するとともに、

懸け橋となることを御期待申し上げます。県人会の皆様におかれましては、今後とも会員相互の連帯をさらに深められ、次世代を担う若い方々も含めて、伯国の発展に一層貢献されたいと、本県と伯国の友好のため、引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

山形新聞社(寒河江浩二社長)は、次世代の県民により強い愛郷心を持つもらうため、山形を象徴する雄大な最上川に美しい桜を植樹する。20日、ブラジル山形県人会の慶祝のため、伯国を訪れた寒河江社長らは海外4例目となる桜の植樹をサンパウロ公園で行った。同社は、同出身の現代彫刻作家、豊田豊さん(80)による版画4点が贈られた。海外技術研修生を代表して



植樹の様子

山形新聞社(寒河江浩二社長)は、次世代の県民により強い愛郷心を持つもらうため、山形を象徴する雄大な最上川に美しい桜を植樹する。20日、ブラジル山形県人会の慶祝のため、伯国を訪れた寒河江社長らは海外4例目となる桜の植樹をサンパウロ公園で行った。同社は、同出身の現代彫刻作家、豊田豊さん(80)による版画4点が贈られた。海外技術研修生を代表して

<p>祝 ブラジル山形県人会創立65周年</p>	
<p>慶祝訪問団 山形県代表団 副知事 若松正俊 県議会議長 小野幸作 総務部長 渡部史朗 総務部長 古瀬隆志 総務部長 木村信洋 総務部長 後藤崇文 総務部長 鈴木正和</p>	<p>山形県農協中央会 折原敬一 柿崎 隆</p>
<p>一般慶祝団 山形新聞社 代表取締役社長 寒河江浩二 三浦製菓製作所 代表取締役社長 三浦孝太郎 山形空港ビル 専務取締役 久利生道郎 元山形県職員 志藤 彰 農業 田中順一 山形不動産 サレビス代表取締役 高野孝衛 あべ農園 代表取締役 阿部良一 あべ農園 代表取締役 阿部敬子 あべ農園 代表取締役 石川千枝子 あべ農園 代表取締役 清治ひさ子 医療法人理事 ツルケン 代表取締役 伊藤勇太郎 本南利建設事務所 代表取締役 佐々木英彦 山形銀行 執行役員 土門義浩 山形銀行 執行役員 柴田健一 山形銀行 執行役員 北野良一 山形銀行 執行役員 鈴木悟 山形銀行 執行役員 渡部映治 山形銀行 執行役員 佐藤真美</p>	<p>ブラジル山形県人会理事会 顧問 豊田豊 栗木那智男 渡部史朗 齊藤 広 齊藤フランシスコ 会長 篠原俊巳 第一副会長 佐藤マリオ 第二副会長 齊藤 保 第三副会長 鈴木源治 第一書記 内谷 敏 第二書記 塩野 彰 第三書記 大江俊明 第四書記 岡谷 公子 第五書記 鈴木啓三 第六書記 海藤 司 第七書記 田中武美 第八書記 海藤 保 第九書記 齊藤 保 第十書記 齊藤マリオ 第十一書記 斎藤佳子 第十二書記 田中武美 第十三書記 奥山啓次 第十四書記 鈴木啓三 第十五書記 寒河江まりえ 第十六書記 塩野茂子 第十七書記 佐藤マリオ 第十八書記 奥山さみリアネ 第十九書記 酒井まち子 第二十書記 曾我部 威 第二十一書記 伊達 幹 第二十二書記 井上 八郎 第二十三書記 依田茂子 第二十四書記 押切和代 第二十五書記 古谷美枝子</p>